

審 査 決 定 報 告 書

決算特別委員会

令和 8 年第 3 回水戸市議会定例会において当委員会に付託されました認定第 1 号（令和 7 年度水戸市一般会計及び特別会計決算認定について）の審査の経過及び結果について、水戸市議会会議規則第 101 条の規定に基づき報告します。

当委員会は、第 1 回委員会を 9 月 7 日に開催し、正副委員長の互選を行い、委員長を森正慶、副委員長を打越美和子委員に決定しました。

続いて、9 月 24、25、28 日にそれぞれ委員会を開催し、提出された決算書及び審査資料を中心に、種々質疑応答を行うなど、その内容について慎重に審査を行った後、採決の結果、認定第 1 号は、賛成多数をもって、認定すべきものと決定しました。

なお、委員会の審査を通じ、今後の市政運営上留意すべき事項として各委員から出された主な意見は、次のとおりであります。

審 査 意 見

1 一般会計について

- (1) 財政調整基金の残高や各種財政指標を十分に踏まえ、引き続き健全な財政運営に努められたい。
- (2) 水戸黄門ふるさと寄附金については、自主財源確保の視点から、他自治体の先進事例を調査研究し、さらなる寄附額の増加に向けた取組の強化に努められたい。
- (3) 業務委託については、社会経済情勢や市民ニーズを的確に捉えた上で、費用対効果や事業継続性などの視点から適宜検証されたい。
- (4) 水都タクシーについては、公共交通空白地区の住民にとって、日々の生活に欠かせない施策となっており、持続可能な事業運営となるよう、さらなる利用促進を図られたい。
- (5) 女性管理職の比率に関する目標設定の見直しを検討するとともに、公表内容についても十分精査されたい。
- (6) 平和記念館については、利用実態に見合った効果的な運営方法等を検討されたい。
- (7) 子育て支援・多世代交流センターの指定管理者については、利用者の多様なニーズに応えられる企画力を重視して選定されたい。

- (8) 休日夜間緊急診療所は、市民が安心して暮らせるまちの実現のために大変重要な役割を担っており、今年度から始まった小児オンライン医療相談・オンライン診療の周知徹底を図るなど、引き続き事業の充実に努められたい。
- (9) 地域おこし協力隊については、移住・定住促進や農業の担い手確保の視点で有効な制度であり、受入れ体制のさらなる拡充を検討されたい。
- (10) 学校給食における地場農産物の活用にあたっては、使用量に関する具体的な数値目標を設定するとともに、今年度実施予定のオーガニックビレッジ宣言とあわせ、本市の農業振興に資する取組を検討されたい。
- (11) 市営住宅については、入居率の向上に向けて、単身世帯の入居要件を緩和するとともに、民間ノウハウの活用やリノベーションの可能性を検討されたい。

上記の意見に加え、委員から、総括的な意見として、「本市に住むことのメリットを感じられるよう、市民が行政サービスを十分に享受できる仕組みづくりを進めるとともに、本市ならではの魅力的なまちづくりに向け、予算の効率的かつ計画的な執行に取り組まれない」、「事業の性質によっては、件数や金額等の実績だけで評価できないものもあることから、市民サービスの維持、向上の視点を十分に踏まえた上で効果検証を行い、次年度予算へ適切に反映されたい」との発言があったこともあわせて報告いたします。

上記のとおり報告する。

令和 8 年 9 月 3 0 日

水戸市議会議長 袴 塚 孝 雄 様

決算特別委員会

委員長 森 正 慶